

学校名 熊谷市立妻沼東中学校
所在地 熊谷市妻沼430-1
電話 048-588-1352

1 本校の概要

本校は来年度で創立60年目を迎える1年生3学級、2年生3学級、3年生3学級、特別支援2学級の計12学級の生徒数307人の学校である。学校教育目標「社会に通用する生徒の育成」の達成に向け、読書習慣の確立など、読書活動を進めている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 朝読書の実施

毎日朝8:20～8:30の10分間を全校で一斉朝読書の時間を設けている。生徒一人ひとりが自分で選んだ本を使って読書をし、日々の読書週間の定着を図っている。



イ 図書月間の取組

○ 図書委員による図書集会の実施

図書委員が中心となって図書集会として全校朝会を行った。読書診断チャートの作成と、その中に紹介されている図書の代表例の発表、さらには、読書をすることの良さ、なども発表した。

ウ 図書委員による取り組み

○ 読書診断チャートの作成

YesとNoで質問に答えると、自らにあった図書にたどり着く診断チャートを作成中である。完成したものは各学年フロアに掲示し、読書につなげたい。

○ 図書室勧誘活動

ポスターを掲示した。各学年フロアに掲示することで、図書室への勧誘を行った。

○ 図書室環境整備

図書室案内図を今年度バージョンに改め、新刊の掲示なども行った。また、図書の分類なども新たに作成した。

○ 学級文庫の設置

今年度からの新たな取組として始めた。毎月の専門委員会の際に、クラスの実態に即した図書を、図書委員自ら選書し学級に設置。冊数は10冊程度としている。生徒の中からは、『早く入れ替えてほしい』や『やっと新しいのが読める』と言った声が上がっている。読書に対する意欲を高めることができると実感している。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 毎朝の読書を通じて読書週間の定着が図れている様子が見受けられる。朝読書の本を図書室で借りる生徒や、休み時間などの隙間時間にも読書をする姿を見ることができた。
- ・ 生徒からの声を図書室にも反映することで、図書室に興味関心を抱く生徒が増加したと感じる。リクエストがあった図書の選書を委員会の生徒が主体となって行うことで、合意形成の育成につながる様子を見ることができた。
- ・ 毎月入れ替わる学級文庫を設置したことで、積極的に図書を手に取る様子がうかがえた。また、先述のように、読書に対する意欲が高まっていると実感することができる。

(2) 課題

様々な取組によって図書室利用者の増加は認められる。その一方で、図書室利用者が固定化されている現状がある。

(3) おわりに

今回の読書活動推進における取組を通じ、図書委員会が中心となって生徒の読書への興味・関心を高めた。また、リクエストの募集や選書など、生徒からの声を反映した活動ができた。一方、利用者が固定化されてしまうという課題もある。図書室利用と学級文庫の両輪で読書活動の推進を図るとともに図書室利用者の増加につながる取組を実施できればと考えている。